



学校教育目標 心豊かで、自主性に富み、創造的で、未来を切りひらく生徒の育成
校 訓 「 自主・創造・敬愛 」 R1. 12. 24発行 文責 校長 松崎大樹



「令和元年」から「令和二年」への「冬休み」に突入します!

去りゆく年に感謝し、新たな年に希望を持って、
充実した冬休みを過ごしてください。



「令和」いう新しい時代を迎えたこの一年、生徒達は、学業や様々な学校行事に先生方と共に一生懸命に取り組み、いくつもの大きな感動を作り上げてきました。それはまさに、大村中学校の新たな伝統であり、さらに本校を発展させる大きな力になりうるものと確信し、大きな期待を寄せていました。しかし、11月後半から12月末にかけて、本校にはいろんな反省すべき事案も発生し、このことを全校生徒・全職員で真摯に受け止める中で、しっかりと改善し、前に進まなければいけないと固く決意したのも事実でした。そんな思いの中、「冬休み前集会」では次のような話をさせていただきました。一部抜粋して掲載していますので、ご一読ください。

「冬休み前集会挨拶」

人間には弱いところがたくさんあると思います。そして、そのため、人間は時に失敗や過ちを起こしてしまうのだと思います。しかし、同じ失敗や過ちを、深く反省もせず繰り返していくとどうなるでしょうか?

自分を苦しめるだけではなく、周りにいる大切な家族や友だちまでも傷つけ、人として一番大切な信頼や絆までも無くしてしまうのではないのでしょうか…。だからこそ、様々な失敗や過ちが身の周りで起きた時、自分のこととしてしっかりと受け止め、自分をより強くしていくために、自分自身を振り返り、そして、向き合い、「まっすぐな生き方」を見つけていくことが大切なのだと思います。

そこで、「今の自分を振り返り、これからの有り様を考える」ために、一つの「詩」を紹介します。

「 つらい事が多いのは、感謝を知らないから。苦しい事が多いのは、自分に甘えがあるから。悲しい事が多いのは、自分のことしかわからないから。心配する事が多いのは、いまを懸命に生きていないから。」

(石川洋(いしかわよう/1930年-/男性) という詩です。この詩を少し解説すると、

「辛い事が多いと感じるのは、自分勝手な要求ばかりして周りに感謝する気持ちを忘れているからだよ。苦しい事が多いと感じるのは、自分の中にわがままな甘さがあるからだよ。悲しい事が多いと感じるのは、自分の事ばかり考えて、周りが見えてないからだよ。心配する事が多いのは、その心配を吹き消すような地道な努力をしていないからだよ。」という意味になるのでしょうか。

今一度、「感謝する心」、「自分の中の甘えを断ち切ること」、「広い視野を持つこと」、「今を懸命に生きること」を大切にしてください。

きっと、そのことが、自分自身に「失敗や過ちから立ち直る大きなきっかけ」を与えてくれるはずです。

きっと、そのことが、自分自身に「人としての真の強さと優しさ」を気付かせてくれるはずです。

そして、きっと、そのことが、自分自身を「まっすぐな生き方」に導いてくれることと思います。

それでは、新しい年に、みなさん一人一人の希望に輝く元気な笑顔に会えることを信じて、冬休み前集会の挨拶とします。



1年生人権集会「あすチャレ! ジュニアアカデミー」開催

パワーリフティング現役アスリート 山本恵理さん来校



2019. 12. 17(火)に2020年東京で開催されるパラリンピックのパワーリフティング競技・日本代表選手を目指してご活躍されている山本恵理(やまもとえり)さんを講師として大村中学校にお招きして、1年生人権集会「あすチャレ! ジュニアアカデミー」を開催しました。

この「あすチャレ! ジュニアアカデミー」では、パラリンピックやパラスポーツを題材に障がい者の「リアル」を当事者の講師から聞き、学び、一緒に考えていきます。知ることで、一人一人が気づき、考え、行動できるようになる。つまり、「あすチャレ! ジュニアアカデミー」とは、障がいのある人も、ない人も、思いやり、支え合い、違いを受け入れて、よりよい社会を作るための第一歩を踏み出すための授業なのです。パラリンピックやパラスポーツを題材に、山本恵理さんから様々なことを学び、一緒に考える中で、生徒一人一人が大切なことに気づき、自ら行動するための大きなきっかけをいただいたことだと思います。貴重な時間を生徒と共に共有させていただきました講師の山本恵理さんには、改めて感謝申し上げます。



できないこと、苦手なこと
たくさんあると思うけど
できないから
あきらめるのではなく
どうやったらできるようになるのか?
楽しみながら取り組んでいきましょう!
Yes, I can.



改めて山本恵理さんのPROFILEを紹介します。生年月日1983年5月17日 出身地兵庫県神戸市

先天性の二分脊椎症により、生まれつき足が不自由。9歳から水泳に取り組み、パラ水泳の近畿大会や日本選手権などに出場、29歳の時に留学先のカナダでパラアイスホッケーに出会い、強豪のカナダ代表選手とプレーする。大学院で障がい者スポーツを学んでいたが、自国開催の東京2020パラリンピックに関わる仕事をするために32歳で帰国。2015年より、日本財団パラリンピックサポートセンター(パラサポ)職員。2016年の5月、東京都主催のパラリンピック体験プログラムで初めてパワーリフティングを体験し、「パワーリフティングをやる人生とやらない人生どっちがおもしろいだろう」と考えた結果、「もう一度、夢を追いかけてみよう」と決意し、選手として東京パラリンピックを目指すことに。パラサポで障がい者理解の事業を担当しながら、国内外の試合に出場中。

◆◆ 後期前半の様々な取組から・・・嬉しいニュースもありました！ ◆◆

**3年生家庭科 ゆりかご保育園に
保育実習に出かけてきました！**



第3学年185名は、2019. 12. 16～20の5日間で各クラスごとに「ゆりかご保育園」を訪問させていただき、保育実習を行いました。
生徒達にとって、子供を産み育てることの意義を理解することはとても重要なことであり、そのためにも幼い子どもたちと直接的にふれあう体験は非常に大切になると考えます。そこで、保育実習では、中学生が幼稚園・保育園を学級単位で訪問し、「幼児と「遊び」を通して直接交流する機会を3年生全生徒に設定し、家庭科「保育分野」の学習のまとめとするとともに、次世代の親として子育て体験の第一歩となるように位置づけているのです。

本校の3年生生達も、手作りおもちゃをプレゼントしたり、様々な仮装をしたりして、一生懸命子どもたちと遊び、ふれあっていました。

この保育実習を通して、自分たちの幼少期にもたくさんの愛情を注いでいただいたからこそ今の自分があること、そして、将来、自分も親として子供を守り、育むことの意義と大切さを、子どもたちとのふれあいの中からしっかり学んでくれたことと思います。

また、保育実習を受け入れてくださいました「ゆりかご保育園」の先生方、そして子どもたち、誠に有難うございました。



**長崎県アンサンブルコンテスト出場
そして、九州大会出場が決定しました！**



2019. 12. 14(土)に第46回長崎県アンサンブルコンテスト・中学校の部が諫早文化会館で開催され、県内61中学校が出場し、日頃の練習の成果をアンサンブルの調べを通して競い合いました。

本校からは、吹奏楽部から選抜された右に示す8名の生徒が出場し、木管八重奏「水墨が山系に見る白と黒の陰翳～木管八重奏のためのXIV～」(作曲 内藤友樹 出版 ナイトミュージック)を見事に演奏することができました。そして、いよいよ結果発表の時を迎えます。結果は、61中学校のうち金賞受賞校15校の中に入ると共に、九州大会出場推薦校5校の中にも入り、見事に九州大会出場の権利を獲得することができました。

次のステージは、令和2年2月に福岡県久留米市で開催される九州大会です。音楽に対する感性と演奏技術を高め、さらに素晴らしい演奏を奏でてくれることを期待しています。

改めて、おめでとうございます！



**アンサンブルコンテスト
出場メンバー**

- Fl I 渡邊 菜 Fl II 高月 柚里香
Ob 杉野 鈴 Cl I 大岩 清花
Cl II 上野 真由子
A. Sax 井上 哩菜
T. Sax 宮内 凜々
B. Sax 塩釜 伶美



ちなみにアンサンブルとは？

アンサンブル(仏: ensemble)とは、音楽用語で2人以上が同時に演奏すること。

合奏、重奏、合唱、重唱の意味、あるいはそれらの団体の意味にも用いられる。一般的に、オーケストラ(管弦楽団)は規定の楽器編成を満たした大人数の演奏団体(50人から100人前後)を意味するため、これに含まれない室内楽の演奏団体をアンサンブルと呼ぶことが多い。

**この冬から春にかけて全国大会で活躍する仲間がいます。
応援をよろしくお願いします！ 頑張れ～！！**

お正月の準備も整いました！



2年 土井 優太

JOCジュニアオリンピック
第33回全国都道府県対抗中学バレーボール大会へ
長崎県中学校選抜チームの一員として出場！
期日 2019. 12. 25(水)～28日(土)の4日間
場所 大阪市中央体育館・大阪市立港スポーツセンター
コメント 日本一を目指してしっかり頑張ってきます！！



2年 田中 美桜

長崎県中学校新人大会空手道競技
2年女子組手第三位より
JOCジュニアオリンピック 文部科学大臣旗・彩の国杯
第14回全国中学生空手道選抜大会出場決定！
期日 2020. 3. 28(土)～30日(月)の2日間
場所 埼玉県立武道館
コメント 県大会では第3位という悔しい結果でしたが、全国大会では自分の力を出し切るよう頑張ります。



令和2年の新年を迎えるにあたって、今年も学校職員の木佐貫 誠先生より正門前に門松を作っていただきました。本当に素晴らしい出来映えです！

本校の匠として、今年も様々な環境整備に尽力していただき、この大村中学校の素晴らしい教育環境の維持・発展に努めていただきました。

素晴らしい環境に、素晴らしい人材が育つ！この大村中学校の発展に大きく寄与されている木佐貫先生の頑張りに、深く感謝しています。